

令和3年9月15日

2年生保護者様

丹波篠山市立篠山東中学校
校長 足立 貞治

丹波篠山市立篠山東中学校 学習・生活に関する学力向上プラン

本校では、中学1、2年生を対象に5月に実施した丹波篠山市学力・生活習慣状況調査をもとに授業等の改善を行うため、本紙『学習・生活に関する学力向上プラン』を作成しました。学力の定着状況をご理解いただき、子どもたちの学習及び生活習慣の改善や学校の教育活動に対してご支援いただければありがたいと思います。

丹波篠山市学力・生活習慣状況調査結果の概要

- 国語科では、「基礎」・「活用」問題をあわせ、全体的に大変良好な状況です。全問中で全国平均正答率を下回る解答は一つもなく、国語に対する高い力を持っています。ただし、「文法」や「条件作文」の正答率は、他問題と比較し若干低く、今後の課題としてその改善に取り組みます。
- 数学科では、4領域すべてにおいて全国平均を上回る良好な状況であり、数学的な技能は身につけています。ただし、「図形」の正答率は、他の領域と比べ全国平均との差が小さく、今後の課題として取り組みます。
- 学習習慣・生活習慣等についての意識アンケートからは、特に『自己認識』に関する項目（家族・友だち・先生のささえ）、『社会性』に関する項目（規範意識・社会参画）、『学級環境』に関する項目（学級の絆）、『生活・学習習慣』に関する項目において、良好な回答が見られました。これらは、学校と家庭・地域とが連携して子どもたちに働きかけてきた成果だと考えています。今後も、家庭でのサポートをよろしくお願いします。

現在の課題および今後の学力向上方策

- 国語科
「文法（文節の関係）」の問題については、他に比べ正答率がやや低い状況でした。1年生での既習内容ですが、「文法」に関しては、今後も定期的に復習する機会を設定し定着を図っていきます。また、「条件作文」の正答率も全国平均値は上回っていましたが、課題が見られます。自分の考えを書き・発表したり、授業はじめの5分間作文などの文章を書いたりする場面では、テーマだけを与えて書かせるのではなく、本問題のような条件や制約を設けて書かせる「条件作文」にも、より積極的に取り組ませます。
- 数学科
「図形」の問題については、「平面図形」「空間図形」ともに正答率は全国平均値を上回っていましたが、他の領域と比べると低い値でした。ICTや具体物を活用して視覚的に支援を行い、知識や理解を高めるとともに、グループ学習やペア学習を取り入れ、思考力・判断力・表現力を育成していきたいと考えています。また、今後も單元ごとの小テストや振り返りシートなどの取り組みを持続させ、基礎・基本の定着を図っていきます。
- 『学習習慣・生活習慣等についての意識アンケート』
特に『自己認識』において、良好な回答が見られました。だれもが社会集団の中で支えあい、補いあい、互いを大切にしながら生活しているという意識が高まっています。人間関係のトラブルに直面した時にも自ら行動・解決し、他者との関係を調整・改善できるよう、今後も支援していきたいと考えています。
毎日の生活や学習・学校行事の中での成功体験を積み重ねながら、自分のことを認めてくれる仲間がいる集団、自分の思いが安心して発信できる集団の一員として、自己肯定感・自尊感情を高めていけるよう取り組みを工夫していきたいと考えています。

【保護者へのお知らせとお願い】

本校では、今回の調査結果を生かして、お子様一人一人についての学習の在り方や生活習慣について指導方法を検証し、取組を充実させていきます。ご家庭におかれましても、子どもたちの家庭学習のあり方や生活習慣について今一度ご確認いただき、支援をよろしく願いいたします。

また、子どもたちの持てる力をさらに伸ばしていくために、周りの支えが何より必要です。個々の成長、そしてより良い集団づくりのために、学校と家庭・地域とが連携して子どもたちを支えていけますよう、ご協力をよろしく願いいたします。